

## 令和3年度沖縄総合事務局開発建設部コンプライアンス・ アドバイザリー委員会（第1回）の議事概要について

1. 日 時：令和3年12月2日（木） 10時00分～12時00分
2. 場 所：沖縄総合事務局4階 事業審査室
3. 委 員：委員長 照屋 兼一 （弁護士）  
委員 小池 真由美 （公認会計士）  
委員 小濱 武 （沖縄国際大学講師）
4. 議 事：コンプライアンス推進計画取り組み状況等の報告
  - ・年間の主な取り組み予定について
  - ・コンプライアンス推進計画の取り組み状況について
5. 各委員からの主なご意見等
  - コンプライアンスメッセージの発信について、どのぐらいの頻度で、配信の時間帯や曜日は決まっているのか？
    - 月1回で、月の半ば辺りに実施するが、決まりはない。多忙な時期は  
ずらすようにしている。
  - コンプライアンス・ミーティングのテーマだが、利害関係者との私的な  
関係の場面設定が沖縄では頻繁に起こりそうで、しかも、コンプライ  
アンスを意識しにくい場面であり、とても良いテーマだという感想を持  
った。
  - コンプライアンス係長・係員研修については、年1回開催であり、2時  
間ぐらいを予定した研修内容だと思うが、事務所では時間確保ができて  
いないようだが。
    - 実施にあたっては、1時間半～2時間の間で時間を確保するようと  
説明したが、事務所においては時間確保が難しいところもあったよう  
だ。しかしながら、当該研修は年1回の重要な研修でもあるので、今  
後は適正な時間を確保するよう、事務所へ指導していきたい。
  - 期間業務職員のコンプライアンス・ミーティングに関して、「服務宣誓  
書」は最初の採用時に期間業務職員本人に説明したうえで、提示して  
いるのか？
    - 昨年度までは採用した時点で担当者から説明することになっていた  
が、どの程度説明するかは担当者任せであったため、理解度に差があ  
ったと思われる。今年度からは採用された時点で必ず20分程度説明  
して、内容について理解してもらうことにしている。
  - コンプライアンスとは、「どういう姿の職員であるべきか」「どうあ  
るべきか」ということを職員に考えてもらうことが有効だと思うが、  
そのような視点で今、取り組まれていることや応用できそうなことは  
あるか？
    - 特に新規採用職員に向けて、従来の狭い意味での予防倫理だけでは

なく、志向倫理、広い意味での公務員倫理ということで「職員の職責、組織の使命」「どうあるべきか」「何をすべきか」というところの認識を持たせるように講習会等を行っているところである。

以上。